



使用前に必ず製品表示を読み、十分理解した上で使用してください。

## 【使用方法】

屋内塵性ダニ類、イエダニ、マダニ、ノミの生息または発生する場所に換気しながら使用すること。  
ダニの死骸や糞はアレルギーの原因となるので、使用後に掃除機をかけることをおすすめします。

### < 藁床タタミの中 >

- (1) 青いノズルを直角に起こし、青いボタンをキャップから外す。
- (2) 青いボタンについている針をタタミにまっすぐ根元まで差し込む。  
※針についている透明のカバーをつけのまま差し込む。
- (3) 青いボタンを指で押さえたまま、噴射ボタンを押して噴射する。  
※チューブを30cm以上伸ばさないこと
- (4) 噴射は1カ所に3秒間の割合で、1畳につき6カ所以上に注入噴射する。  
内部注入と表面噴射で約12畳処理できます。

### < カーペット・じゅうたん・板間・タタミの表面 >

カーペットやタタミなどの表面には青いノズルを起こさずに、噴射ボタンを押して噴射する。  
この時40~50cm離して均一に処理する。噴射する場合は、缶を横にしたり、傾けすぎたりしないように注意すること。

- カーペット・板間などの場合  
1㎡あたり約10秒間（1畳あたり約15秒）噴射する（約35畳分）。
- タタミの表面の場合  
1畳あたり約30秒間（1㎡あたり15~20秒）噴射する（約20畳分）。

## 使用上の注意

---

注意－人体に使用しないこと

### 【してはいけないこと】

人体に向かって噴射しないこと。また噴射気体を吸入しないこと。

本剤は可燃性ガスを使用しているため、火気には十分注意すること。

使用後は、部屋を二オイが気にならなくなるまで十分換気してから入室すること。

7分以上連続噴射しないこと。

### 【相談すること】

万一身体に異常が起きた場合は、直ちに本品がピレスロイド系、オキサジアゾール系、トリフルオロメタンスルホンアミド系の薬剤を含む商品であることを医師に告げて、診療を受けること。

### 【その他の注意】

定められた使用方法、使用量を守ること。

噴射中は窓を開け、噴射する人以外の者の入室を避けること。

皮膚、目など人体にかからないようにすること。薬剤が皮膚についた場合は、直ちに石けんと水でよく洗い流すこと。また、目に入った場合は、直ちに水でよく洗い流すこと。

飲食物、食器、子供のおもちゃ、観賞魚・小鳥などのペット類、飼料、観賞植物にかからないようにすること。

アレルギーやかぶれなどを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れないようにすること。

変色のおそれがあるので、タタミ・カーペット以外の家具や建具などに薬剤がかからないようにすること。

繰り返し使用する場合は、1週間以上の間隔をあけて使用すること。

噴射針はタタミ専用なので、タタミ以外に差し込んで使用しないこと。噴射針は、薬床タタミには使用できるが、薬床タタミ以外のタタミについては使用できないので、表面に処理すること。使用後は針をつけたままにせず、必ずもとの収納位置にもどすこと。また、先が鋭く尖っているので、ケガをしないように注意すること。針を指などに刺してしまった場合は医師に相談すること。

タタミに注入するときは、噴射針が抜けないようにチューブを極端にのぼして使用しないこと。

タタミやカーペットの表面処理後は、乳幼児が薬液をなめないよう注意するとともに、処理後薬液が乾くまでの間は、乳幼児がはわないように注意すること。

床暖房のタタミは薄く、針を刺すと温水パネルが破損するため、決して針は刺さないこと。

### 【保管及び取扱上の注意】

直射日光（車の中等）や火気を避け、子供の手の届かない涼しい所に保管すること。

缶のさびを防ぐため、水回りや湿気の多い場所に置かないこと。

## 【火気と高温に注意】

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- (1) 炎や火気の近くで使用しないこと。
- (2) 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- (3) 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
- (4) 火の中に入れてないこと。
- (5) 使い切って捨てること。

高圧ガス：DME

火気厳禁